

## 大分赤十字病院



当院は「救急・災害医療」「がん診療」「生活習慣病」を診療の3本の柱として、その急性期医療の専門性を進化させながら、患者さんにとって全経過を通じて、全人的で安全・安心・信頼の医療が提供出来るように努めています。

当院の肝胆膵センターは有名で、平成11年に設立され、治療が困難なことが多いこの領域の悪性疾患に対して質の高い医療に取り組んでいます。また肝胆膵センターは、その実績が評価され全国的にも数少ない「日本肝胆膵外科学会高度技能医指導認定施設A」の指定を受けています。

### 【施設概要】

所在地 大分県大分市千代町3丁目2番37号  
 病床数 340床  
 敷地面積 9,589 m<sup>2</sup>  
 地域がん診療拠点病院  
 第二次救急指定病院  
 災害拠点病院  
 労災指定病院  
 日本医療機能評価機構認定病院  
 臨床研修指定病院

大分赤十字病院が「週刊朝日MOOK」2011.3.10号に掲載されました。

### 【肝胆膵手術 九州ベスト10病院2009】

肝胆膵がん手術	手術数 (前年比)	原発性 肝がん	転移性 肝がん	胆道 がん	膵がん	
① (国)九州医療センター	206 (180)	155	26	15	10	福岡県
② 九州大学病院	196 (8)	57	11	22	46	福岡県
③ 熊本大学病院	134 (▲7)	78	19	13	24	熊本県
④ 飯塚病院	122 (▲4)	72	10	24	16	福岡県
⑤ 大分赤十字病院	105 (11)	49	9	25	22	大分県
⑥ 長崎大学病院	100 (▲39)	55	15	19	11	長崎県
⑦ 佐賀大学病院	97	52	5	29	11	佐賀県
⑧ 宮崎大学病院	93 (9)	21	7	32	33	宮崎県
⑨ 北九州市立医療センター	80 (▲1)	28	17	14	21	福岡県
⑩ (国)長崎医療センター	76 (▲1)	31	17	13	15	長崎県
⑪ 鹿児島厚生連病院	76	41	13	8	14	鹿児島県

### 【診療科】

内科(糖尿病・内分泌)、呼吸器内科、消化器内科、肝胆膵内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科、救急科、病理診断科、肝胆膵センター、腎・泌尿器センター

大分赤十字病院が雑誌「プレジデント」2011.1.3号に掲載されました。

### 肝臓がん 【肝切除 全国ベスト50病院】

26	岡山大学病院	39	68	岡山県岡山市
27	岡山済生会総合病院	38	56	岡山県岡山市
27	慶応義塾病院	38	79	東京都港区
27	広島赤十字・原爆病院	38	27	広島県広島市
30	東京医科大学医学部附属病院	37	40	東京都文京区
30	大塚市民病院	37	70	埼玉県大塚市
32	名古屋大学医学部附属病院	34	72	愛知県名古屋市
33	千葉大学医学部附属病院	33	55	千葉県千葉市
34	横浜国立大学附属病院	32	92	神奈川県横浜市
34	長崎大学病院	32	41	長崎県長崎市
34	飯塚病院	32	61	福岡県飯塚市
34	福岡市民病院	32	15	福岡県福岡市
34	静岡県立総合病院	32	90	静岡県静岡市
34	愛知県がんセンター中央病院	32	97	愛知県名古屋市
34	札幌厚生病院	32	91	北海道札幌市
41	聖マリアンナ医科大学病院	30	70	神奈川県川崎市
41	大阪市立総合医療センター	30	95	大阪府大阪市
43	近畿大学医学部附属病院	29	71	大阪府大東市
43	兵庫県立がんセンター	29	50	兵庫県明石市
45	市立伊病院	27	31	大阪府堺市
46	佐州大学医学部附属病院	26	64	長野県松本市
46	豊橋市民病院	26	70	愛知県豊橋市
46	大分赤十字病院	26	51	大分県大分市
49	東京慈恵会医科大学附属病院	25	61	東京都港区
49	磐田市立総合病院	25	28	静岡県磐田市

## 【沿革】

昭和 27 年 4 月	共済組合連合会大分共済病院を譲り受け大分赤十字病院として発足。	平成 11 年 9 月	居宅介護支援事業所の指定を受ける
昭和 28 年 1 月	労災指定病院となる	平成 12 年 4 月	二次救急指定病院となる
昭和 36 年 6 月	一般病床 50 床の増築を行い 350 床となる	平成 12 年 7 月	オーダーリングシステムの運用を開始
昭和 39 年 6 月	救急告示病院となる	平成 12 年 10 月	休止中の結核 50 床を廃止し、一般病床 344 床体制となる
昭和 63 年 4 月	第一期増改築工事着工	平成 12 年 11 月	院外処方箋を実施
平成元年 5 月	第一期工事完成 手術・中材部門、エネルギー部門の設備充実を図る。	平成 13 年 12 月	結核モデル病床 4 床整備
平成 7 年 1 月	訪問看護ステーション開設	平成 14 年 4 月	第一内科を内科、第二内科を呼吸器科、第三内科を消化器科に変更し、内科部門の充実を図る
平成 7 年 11 月	第二期増改築（前期）工事着工	平成 14 年 12 月	地域がん診療拠点病院となる
平成 8 年 12 月	第二期増改築（前期）工事完成 外来部門、検査・放射線・リハビリ等、コ・メディカル部門の充実	平成 15 年 10 月	協力型臨床研修指定病院となる
平成 9 年 2 月	第二期増改築（後期）工事着工	平成 16 年 6 月	急性期入院加算算定病院となる
平成 9 年 3 月	病棟を新設	平成 16 年 10 月	管理型臨床研修指定病院となる
平成 9 年 4 月	災害拠点病院となる	平成 17 年 7 月	日本医療機能評価機構認定病院（Ver.4）となる
平成 9 年 12 月	第二期増改築（後期）工事完成 内視鏡・人口透析・歯科・薬剤・医事部門の充実を図る	平成 17 年 12 月	第三期増改築工事着工
平成 10 年 9 月	駐車場工事完成	平成 18 年 1 月	単独型歯科臨床研修指定病院となる
平成 11 年 1 月	第四内科を循環器科に変更し、内科部門の充実を図る	平成 18 年 2 月	急性期特定入院加算算定病院となる
		平成 18 年 2 月	一般病床 4 床の減床を行い、一般病床が 340 床体制となる
		平成 19 年 5 月	新管理棟完成 7 : 1 看護師配置

平成 20 年 2 月  
病院総合情報システム（電子カルテ）  
導入

平成 20 年 2 月  
地域がん診療連携拠点病院更新

平成 20 年 4 月  
DPC 対象病院となる

平成 21 年 1 月  
第三期増改築工事完成

平成 21 年 4 月  
ICU 病床 4 床整備

平成 22 年 11 月  
日本医療機能評価機構認定病院 (Ver.6) となる

#### 【放射線部】

放射線科医	常勤 3 名	非常勤 2 名
看護師	3 名	
放射線技師	12.5 名	
受付	2 名	

当院では、毎日朝礼を行い、その日の予定や装置の状況など、各部門の担当者が報告し、業務が円滑に進むようコミュニケーションを図っています

#### 【放射線技師の人員配置】

一般撮影	4 名（撮影室 4）
X線透視	2 名（2 台）
CT	2 名（2 台）
MRI	1 名（1 台）
RI	1 名（1 台）
リニアック	2 名（1 台）
骨塩	1 名（1 台）

#### 【放射線部主要装置一覧】

リニアック	: 21EX(VARIAN)
MRI	: Avanto 1.5T(SEMENS)
血管造影装置	: BRANSIST safire (SHIMADZU)
CT 装置	: Aqilion 64 (TOSHIBA)

CT 装置	: Optima CT580W (GE)
骨密度計測装置	: Discovery (ホロジック)
X線透視装置	: SONIALVISION(FPD) (SHIMADZU)

X線透視装置	: SONIALVISION(LI) (SHIMADZU)
--------	----------------------------------

乳房 X線装置	: Senographe DMR+ (GE)
---------	------------------------

核医学検査装置	: Symbia (SEMENS)
---------	-------------------

一般撮影装置 5 台、ポータブル装置 3 台、パノラマ撮影装置 1 台、画像読み取り装置 3 台  
放射線情報システム (F-RIS)

#### 【業務実績】

平成 22 年度業務実績

CT	12396 人
MRI	3200 人
アンギオ	828 人
放射線治療	4828 人
超音波	640 人
一般撮影	45939 人
X線テレビ	1768 人
骨塩定量	179 人
RI	470 人

#### 【観光】

大分の自慢は、何と言っても別府や由布院をはじめとする温泉です。

大規模な温泉施設から、昔ながらの風情を残す湯治場まで温泉三昧はいかがでしょうか。

食事も自然に恵まれた地ならではの海の幸や山の幸を満喫していただけます。

（由布院温泉）

かつてはひなびた温泉で団体観光客向けの大型ホテルや歓楽街は整備されていませんでしたが、それがプラスに転じました。各宿泊施設はにぎやかな町並みから外れた周辺の川端や林の間、丘の上などに点在しています。湯量が豊富で広い範囲で湯が湧くため、旅館を一箇所に集積する必要が少なかったことから、

一軒の敷地も比較的広く、町の造りはゆったりとしています。しかも開発規制により高層の巨大旅館・ホテルもなく、田園的な名残を残しています。このような特徴から、由布院温泉は、数多くの調査で九州の温泉の第1位に選ばれています。連休には多くの人を訪れ、昭和の大規模温泉街に多く見られた歓楽性を極力排しており、女性に特に人気が高い温泉地となっています。

秋から冬にかけてすっぽり朝霧に埋まる由布院温泉の幻想的な風景。



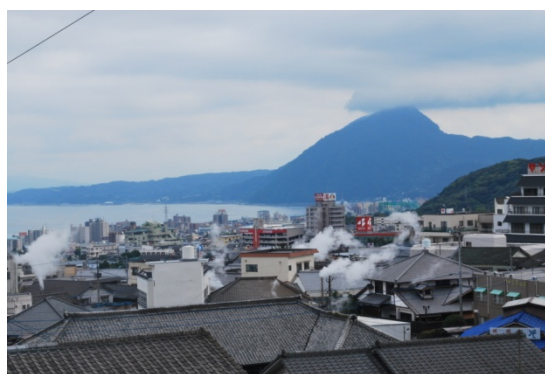
#### 金鱗湖

数本の小川が流れ込み、温泉もわき出ているので湖水の温度は年間を通してほとんど変わることはありません。外気温の低い日には、湯気が立ち登り、幻想的な雰囲気になります。明治17年儒者「毛利空桑（もうりくそう）」がこの地に訪れ、鮒（ふな）の鱗（うろこ）が金色に輝くのをみて「金鱗湖」と名付けたのが呼称の始まりと言われています。



#### （別府温泉）

別府温泉は源泉数、湧出量ともに日本一を誇ります。温泉都市別府の市内各地に数百ある温泉の総称で、別府八湯（べっふはっとう）とも呼ばれています。別府観光の父 油屋熊八の登場により別府温泉の名は全国へと広まりました。温泉マークや「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」というキャッチコピーを用いた別府温泉の宣伝手法は熊八のアイデアです。さらに、1928年（昭和3年）1月には地獄めぐり遊覧バスを運行し全国初の女性バスガイドの案内でまわる地獄めぐりは大人気となり、熊八の手腕で集客力が高まりました。



#### 地獄めぐり

海・鬼石坊主・山・かまど・鬼山・白池・血の池・龍巻の計8地獄の自然の驚異を体感しながら、温泉卵、地獄蒸しプリンも楽しみです。







熊野磨崖仏(国東)



一目八景(耶馬溪)



十文字原からの別府の夜景



杵築の武家屋敷



九州最古の木造建築 富貴寺(国東)

